

地域価値創造室 担当副理事長 濱田圭彦		
現状分析	<p>広報委員会では近年、和歌山市では人口減少や若年層の転出、地域経済の変化などに対応するため、行政・民間一体となった情報発信の重要性が高まっています。また、デジタル化の進展により、SNS やオンライン媒体を活用した広報活動が主流となりつつあります。こうした中で、地域の一員として活動する和歌山青年会議所も、従来の事業発信に加え、繋がりを生む広報を展開することが求められていることが課題です。</p> <p>また、まちづくり委員会では、和歌山市には魅力あふれる豊かな自然があります。一方で、記録的な猛暑、豪雨の頻発、森林破壊など多くの自然環境についての報道がある今、時代の流れと共に人々の価値観が変化し魅力あふれる豊かな自然を未来へ残すための担い手不足が懸念されます。私たちがしっかりと地域の個性に目を向け、地域の魅力を重視した価値観を中心にまちの情趣を覚え、まちと市民を結ぶ笑顔と思いやりにあふれた運動の展開を行っていくことが課題です。</p>	
運動の目的	<p>情報が届かなかった層に対しても青年会議所の存在を効果的に届ける</p> <p>地域の活性化をおこなう。</p>	
事業計画	2	共感を呼ぶ運動を創出する
	<p>・子どもなかよしまつりへの参加事業</p> <p>まちとの絆を結ぶために、子どもなかよしまつりに参画することで、子どもたちと触れ合う機会を創出します。</p>	
	KGI	青年会議所を市民に知ってもらう
	KPI	<p>市民との交流の場で PR を行う</p> <p>ー 200 名以上の市民に来場してもらう</p> <p>ー 全メンバーの 60%が参加する</p>
	パートナー	行政、市民
	<p>・まちづくり事業</p> <p>笑顔と思いやりがあふれる和歌山市を創出するために、まちづくり事業を実施し、新たなまちの可能性を切り拓きます。</p>	
	KGI	参加者 90%が和歌山市の魅力を再認識する
	KPI	<p>ー アンケートより、参加者の 90%が楽しかったと回答</p> <p>ー 全メンバーの 70%が参加する</p> <p>ー 行政と打ち合わせを 3 回以上行う</p>
	パートナー	行政、市民、和歌山市内企業、特別会員
	3	JC のファンを創出する
	<p>・JC ニュースの配信並びにホームページ・SNS の運用事業</p> <p>和歌山 JC のファンを創出するために、JC ニュースの配信並びにホームページ・SNS の運用事業を実施し、市民の皆さまに知っていただきます。</p>	
	KGI	SNS のフォロワー数を 1.3 倍にする
	KPI	<p>ー 全メンバーの 100%が各種 SNS をフォローする</p> <p>ー 担当事業を発信する際は担当委員会の 50%以上に拡散してもらう</p> <p>ー 全事業で PR する機会を創出する</p>
	パートナー	市民、特別会員

	<p>・わとらん 10 周年 PR 事業</p> <p>和歌山青年会議所を PR するために、わとらん 10 周年 PR 事業を実施することで、新たな連携の機会を創出します。</p>	
	KGI	和歌山市内企業 1 社以上と連携を結び発信する
	KPI	<ul style="list-style-type: none"> — 和歌山市内の PR 可能な企業を 3 社以上リサーチする — 全メンバーに知ってもらう — 特別会員の 50%に周知する
	パートナー	市民、和歌山市内企業、特別会員
	5	アップデートする学びの機会を創出する
	<p>・7 月度例会の実施事業</p> <p>地域未来の糧となる JC 運動の礎とするために、例会を実施し様々な観点や考え方を知り、地域の魅力や豊かさを考えることで、地域課題に対して希薄になってきた当事者意識が高まります。</p>	
	KGI	メンバー出席率 60%以上
	KPI	全委員会 PR
	パートナー	行政、特別会員、
	7	想いを結び、未来へつなぐ価値を創出する
	<p>・各種大会(国内)におけるブース出展</p> <p>和歌山市の魅力を発信するために、各種大会におけるブース出展を行い、県外からの関心を惹くきっかけを創出します。</p>	
	KGI	和歌山市の魅力を 80%方が良いと思ってもらう。
	KPI	<ul style="list-style-type: none"> — アンケートから和歌山市にポジティブな印象をもつ人が 80%以上 — 参加した和歌山メンバーの 80%が和歌山市の魅力を再認識する
	パートナー	和歌山市内企業、ブース来客者
	<p>・アゼリア賞の選考と研究事業</p> <p>和歌山市の特徴を知るために、アゼリア賞の選考と研究事業を行い、新たな価値を創出します。</p>	
	KGI	全メンバーの 80%がアゼリア賞を理解する
	KPI	<ul style="list-style-type: none"> — 各委員会に PR を行う — 選考の際は、全メンバーの 70%が参加する — 選出に伴い、行政に 1 回以上打ち合わせを行う
	パートナー	行政、和歌山市内企業、特別会員
	<p>・新春交歓会の実施事業</p> <p>関係各所と連携を深めるために、新春交歓会を実施することで、和歌山青年会議所の可能性を広げます。</p>	
	KGI	昨年よりも参加者を 5 名増やす
	KPI	— 全メンバーの 70%以上が参加する
	パートナー	行政、各種団体、他 LOM メンバー
チームワーク	<p>広報連携を行ったまちづくり事業モデルを構築する</p> <p>同室での実施事業には 80%以上で参加する</p>	